

大会宣言

日本医労連は、2012年7月25日～27日までの3日間、静岡県熱海市において第62回定期大会を開催しました。この1年で1万1,889名の仲間を増やし、前年比2,343人の純増で、組織現勢17万人台に回復して迎えた今大会は、7全国組合、47都道府県医労連、代議員188人、傍聴55人、役員ら合わせて322人が参加するもとの、70人の発言（うち7人は文書発言）によって方針を補強し、産別運動の前進にむけて決意を固めあう大会となりました。

討論では、各県の地域キャラバン行動や地域医療を守る共同の取り組み、「春闘再構築」や20万医労連をめざす方針に呼応した決意等が元気に語られました。

増員・夜勤改善の取り組みでは、厚生労働省「5局長通知」を活かした対県交渉や職場要求の前進、看護師特定能力認証制度反対、准看護師の養成停止をめざす活動、職場実態調査も活用した自治体要請行動、地域に依拠して取り組んだ署名活動など、組合員が確信を深め、職場・地域で労働組合の存在感を大きくしてきた報告がされました。新「夜勤改善・大幅増員」署名の1人10筆・100万筆以上の目標を必ず達成し、職場・地域からの運動で夜勤交替制労働の抜本的な改善を実現しましょう。

賃金・労働条件改善の取り組みでは、国民・労働者の生活に波及する公務員賃金の切り下げに対するたたかい、産別統一闘争を強化してベア獲得に奮闘した2012春闘の取り組み、ストライキを配置・決行して粘り強く取り組んだ一時金交渉、介護分野の処遇改善を求める旺盛で粘り強い行動、労働基準法・労働安全衛生法遵守のたたかい等、組合員の切実な要求に根ざして奮闘した発言が次々と出されました。

医療・社会保障を守るたたかい、原発ゼロなど国民共同の取り組みでは、住民の運動で病院を再生させた報告、「税と社会保障の一体『改革』」による国民生活・権利破壊を許さないたたかい、社会保険病院売却に反対するたたかいなど、地域共同の取り組みで奮闘することの大切さが鮮明になりました。また、依然厳しい状況におかれた震災被災地から、地域医療再建にむけた奮闘が報告されました。原発ゼロ、TPP、オスプレイ・新基地建設反対の運動でも労働組合が先頭にたつ力強い決意が語られました。

組織拡大・強化の取り組みでは、医労連共済の活用や対話活動を進め、職場にねざした運動で増勢に転じた報告、要求実現と結びつけて組合の結成・拡大を進め奮闘している介護や非正規分野の取り組み、青年が中心となって成果をあげた新人拡大、理不尽な攻撃に負けず産別に結集してたたかい続けている仲間の発言、楽しく元気が出る青年協や女性協の取り組み等、全国各地での奮闘と、「第8次3カ年計画」、20万医労連の達成にむけた決意が生き生きと語られました。

本日は、ロンドンオリンピックの開会日。社会が大きく変わろうとしている今、私たちの草の根の運動の中でも、アスリート達に負けない感動が生まれています。すべての職場でベストをつくし、安全安心の医療・介護、雇用や暮らしが守られる社会を築くために、いのちまもる「全国一斉地域キャラバン行動」を成功させ、20万医労連を早期に達成し、全国の仲間が力をあわせて奮闘することを誓います。

以上、宣言します。

2012年7月27日

日本医療労働組合連合会第62回定期大会